ほけんだより

社西小学校　ほけんしつ　令和５年３月号

２月に学校保健委員会で保健委員会が「しあわせのバケツ」の読み聞かせをしました。みなさんが書いた感想には、「こんなことをしたい」「こんな言葉をかけたい」と、自分の考えが書けていました。読んでいて先生はうれしくなりました。先生のしあわせのバケツにボールがたくさん入りました。

また、保健委員会の読み聞かせも分かりやすく、堂々と発表ができました。保健委員会が“チームほけん”としてひとつになって、くり返し練習してきた成果だと思います。保健委員会のみなさん、おつかれさまでした。

みんなの感想を知ろう！

ここで、先ほどお伝えしたみなさんの感想をしょうかいします。

・相手が何かをしてくれたら。「ありがとう」と言ったり、いいなと思ったら、「いいね」と言ってあげたり、自分が思ったことをち

ゃんと言葉にして相手に伝えないと、相手も自分もうれしい気持ちにはなれないから、感謝の気持ちなどを伝えていきたいです。（5年男子）

・自分がこまっているとき、友だちが「どうしたの」と聞いてくれました。わたしもこまっている人を見かけたら、わたしも助けてあげようと思いました。（2年女子）

・ぼくは、何かしてもらったら、きちんと「ありがとう」といい、友達が大変そうだったら手伝いたいです。相手にいやなことをしてしまったら、「ごめんなさい」といいたいです。（6年男子）

・わたしは、おともだちがけがをしているので、つくえとイスを動かすのを手伝っています。わたしもすっきりとしていい気持ちになります。（3年女子）

・ちゃんとひとのきもちをかんがえ、やさしいことばをかけて、みんなのバケツをいっぱいにして、せかいでこまっているひとをたすけてたのしいことといっぱいのせかいにする。（1年女子）

社西小のみんなのしあわせのバケツが、ボールでいっぱいになるといいなと思います。

社西小学校
（0776）35−1018
養護教諭　石原 尚子